

平成 19 年第 7 回臨時
夕張市議会会議録
平成 19 年 11 月 15 日(木曜日)
午前 10 時 30 分開議

◎議事日程

- 第 1 会期の決定について
- 第 2 議案第 1 号 平成 19 年度夕張市市場事業会計補正予算
- 第 3 認定第 1 号 平成 18 年度夕張市一般会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第 2 号 平成 18 年度夕張市国民健康保険事業会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第 3 号 平成 18 年度夕張市市場事業会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第 4 号 平成 18 年度夕張市老人保健医療事業会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第 5 号 平成 18 年度夕張市公共下水道事業会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第 6 号 平成 18 年度夕張市宅地造成事業会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第 7 号 平成 18 年度夕張市観光事業会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第 8 号 平成 18 年度夕張市住宅管理事業会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第 9 号 平成 18 年度夕張市介護保険事業会計歳入歳出決算の認定について
- 第 4 意見書案第 1 号 灯油等石油製品の価格を下げるための緊急対策を

求める意見書

◎出席議員（9 名）

高 間 澄 子 君
伝 里 雅 之 君
島 田 達 彦 君
角 田 浩 晃 君
加 藤 喜 和 君
正 木 邦 明 君
高 橋 一 太 君
新 山 純 一 君
山 本 勝 昭 君

◎欠席議員（なし）

午前 10 時 30 分 開議

●事務局長 竹下明洋君 ご起立願います。

●議長 加藤喜和君 ただいまから平成 19 年第 7 回臨時夕張市議会を開会いたします。

●議長 加藤喜和君 本日の出席議員は 9 名、全員であります。

●議長 加藤喜和君 これより、本日の会議を開きます。

●議長 加藤喜和君 本日の会議録署名議員は、会議規則第 118 条の規定により

高間議員

伝里議員

を指名いたします。

●議長 加藤喜和君 日程に入ります前に、事務局長から諸般の報告をいたします。

●事務局長 竹下明洋君 報告いたします。

参与並びに書記の職氏名についてであります、地方自治法第 121 条の規定に基づき、議長の求めに応じて出席した参与の職氏名、また本議会の書記の

職氏名は、お手元に配付してありますプリントのとおりであります。

以上で報告を終わります。

「別紙」

市長 藤 倉 肇 君

教育委員会委員長

氏 家 孝 治 君

選挙管理委員会委員長

板 谷 努 君

農業委員会会長

高 城 潤 一 君

監査委員 藤 原 哲 君

◎市長の委嘱を受けて出席した者の職・氏名

副市長 羽 柴 和 寛 君

理事 金 家 明 宏 君

総務課長 天 野 隆 明 君

地域再生課長 畑 山 栄 介 君

地域再生課主幹 松 村 俊 哉 君

同 朝 日 敏 光 君

同 千 葉 敬 司 君

税財課長 熊 谷 禎 子 君

税財課主幹 三 羽 昭 夫 君

建設課長兼区画整理事業推進室長

細 川 孝 司 君

建設課主任技師 佐 藤 紀美夫 君

同 熊 谷 修 君

上下水道課長 小 林 正 典 君

上下水道課主任技師

阿 部 淳 君

市民課長 寺 江 和 俊 君

南支所長 上 木 和 正 君

福祉課長兼福祉事務所長

秋 葉 政 博 君

福祉課主幹兼地域包括支援センター長

及 川 憲 仁 君

養護老人ホーム所長

池 田 伸 君

出納室長 四 方 淳 生 君

消防本部消防次長

鷲 見 英 夫 君

同管理課長 田 中 義 信 君

◎教育委員会委員長の委嘱を受けて出席した者の職・氏名

教育委員 小 林 尚 文 君

教育長 小 林 信 男 君

学校教育課長 石 原 秀 二 君

社会教育課長 三 浦 護 君

◎選挙管理委員会委員長の委嘱を受けて出席した者の職・氏名

事務局長 天 野 隆 明 君

◎農業委員会会長の委嘱を受けて出席した者の職・氏名

事務局長 朝 日 敏 光 君

◎監査委員の委嘱を受けて出席した者の職・氏名

事務局長 天 野 隆 明 君

◎本議会の書記の職・氏名

事務局長 竹 下 明 洋 君

総務係長 大 島 琢 美 君

書記 飯 田 美 恵 君

●議長 加藤喜和君 本日の日程は、お手元に配付しているプリントのとおりであります。

それでは、直ちに日程に従って会議を進行いたします。

●議長 加藤喜和君 日程第 1、会期の決定についてを議題といたします。

この場合、議会運営委員会委員長の報告を求めます。

角田議員。

●角田浩晃君（登壇） ただいまから、第 7 回臨時市議会の運営に関し、先に議会運営委員会を開催し協議しておりますので、その結果についてご報告申し上げます。

まず、本臨時市議会の付議案件につきましては、

当初、議案 1 件、認定 9 件でありましたが、灯油等石油製品の価格を下げるための緊急対策を求める意見書案 1 件が追加提出されることとなりましたので、これをあわせると 11 件となるものであります。

次に、これら案件の取り扱いについてであります。認定第 1 号ないし認定第 9 号の平成 18 年度各会計決算の認定にかかわる 9 案件については、議長及び議員選出監査委員を除く議員全員による決算審査特別委員会を設置し、閉会中の継続審査として付託することとしております。

なお、決算審査特別委員会の正副委員長につきましては、行政常任委員会の正副委員長とすることとしております。

そのほかの案件につきましては、それぞれ即決することとし、会期につきましては、本日 1 日間と決定した次第であります。

以上で、報告を終わります。

●議長 加藤喜和君 ただいまの議会運営委員会委員長の報告のとおり、本議会の会期を本日 1 日間と決定してご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認めます。

したがって、本議会の会期は、本日 1 日間と決定いたしました。

●議長 加藤喜和君 日程第 2、議案第 1 号平成 19 年度夕張市市場事業会計補正予算を議題といたします。

理事者から、提案理由の説明を求めます。

副市長。

●副市長 羽柴和寛君（登壇） 議案第 1 号平成 19 年度夕張市市場事業会計補正予算について提案理由を申し上げます。

本案は、夕張市公設地方卸売市場の天井部に使用されている吹き付けアスベストの除却工事を進めるに当たり、当初、見込んでいなかった国庫補助金の活用が見込まれることとなったため、第 1 条歳入歳出予算の補正において、歳出所要額として 876 万

2,000 円を追加計上し、歳入では、国庫支出金 2,187 万 8,000 円を計上する一方、他会計繰入金など 1,311 万 6,000 円を減額しようとするものであります。

この結果、歳入歳出予算の総額は 6,743 万 2,000 円となるものであります。

よろしくご審議の上、ご決定賜りますようお願い申し上げます。

●議長 加藤喜和君 これより質疑に入ります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

質疑、討論ともないようでありますから、直ちに採決いたします。

本案は、原案のとおり決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認めます。

したがって、本案は原案のとおり可決されました。

●議長 加藤喜和君 日程第 3、認定第 1 号平成 18 年度夕張市一般会計歳入歳出決算の認定について、認定第 2 号平成 18 年度夕張市国民健康保険事業会計歳入歳出決算の認定について、認定第 3 号平成 18 年度夕張市市場事業会計歳入歳出決算の認定について、認定第 4 号平成 18 年度夕張市老人保健医療事業会計歳入歳出決算の認定について、認定第 5 号平成 18 年度夕張市公共下水道事業会計歳入歳出決算の認定について、認定第 6 号平成 18 年度夕張市宅地造成事業会計歳入歳出決算の認定について、認定第 7 号平成 18 年度夕張市観光事業会計歳入歳出決算の認定について、認定第 8 号平成 18 年度夕張市住宅管理事業会計歳入歳出決算の認定について、認定第 9 号平成 18 年度夕張市介護保険事業会計歳入歳出決算の認定について、以上 9 案件一括議題といたします。

理事者並びに監査委員から、説明あるいは報告することがありましたら発言を許します。

副市長。

●副市長 羽柴和寛君（登壇） 認定第 1 号平成 18 年度夕張市一般会計歳入歳出決算の認定につい

て、及び認定第 2 号ないし認定第 9 号の各特別会計の決算につきまして、一括してその概要をご説明申し上げます。

まず、認定第 1 号平成 18 年度夕張市一般会計歳入歳出決算の認定についてであります。当初予算額 111 億 3,799 万円に対し、年度途中において 464 億 3,309 万 1,000 円の追加補正を行い、繰越事業費繰越額 1,677 万 1,000 円を加えた最終予算額は 575 億 8,785 万 2,000 円となりました。決算においては、歳入 221 億 9,474 万 2,000 円に対し、歳出では 571 億 5,370 万 7,000 円の支出となり、歳入歳出差し引き 349 億 5,896 万 5,000 円の不足額に、翌年度繰越額 43 万円を加えた額 349 億 5,939 万 5,000 円につきましては、翌年度の歳入を繰上充用し、決算したものであります。

次に、認定第 2 号平成 18 年度夕張市国民健康保険事業会計歳入歳出決算の認定についてであります。当初予算額 20 億 1,250 万 8,000 円に対し、年度途中において、10 億 7,599 万 6,000 円の追加補正を行い、最終予算額は 30 億 8,850 万 4,000 円となりました。決算においては、歳入 30 億 401 万 5,000 円に対し、歳出では 30 億 3,788 万 7,000 円の支出となり、歳入歳出差し引き 3,387 万 2,000 円の不足額につきましては、翌年度の歳入を繰上充用し、決算したものであります。

次に、認定第 3 号平成 18 年度夕張市市場事業会計歳入歳出決算の認定についてであります。当初予算額 246 万 5,000 円に対し、年度途中において 1 億 4,278 万 7,000 円の追加補正を行い、最終予算額は 1 億 4,525 万 2,000 円となりました。決算においては、歳入 1 億 6,581 万 3,000 円に対し、歳出では 1 億 4,256 万 3,000 円の支出となり、歳入歳出差し引き 2,325 万円は全額を繰り越したものであります。

次に、認定第 4 号平成 18 年度夕張市老人保健医療事業会計歳入歳出決算の認定についてであります。当初予算額 29 億 1,184 万 5,000 円に対し、年度途中において 5 億 535 万 9,000 円の追加補正を行い、最

終予算額は 34 億 1,720 万 4,000 円となったものであります。決算においては、歳入 33 億 2,019 万 4,000 円に対し、歳出では 32 億 6,392 万 7,000 円の支出となり、歳入歳出差し引き 5,626 万 7,000 円は、全額を繰り越したものであります。

次に、認定第 5 号平成 18 年度夕張市公共下水道事業会計歳入歳出決算の認定についてであります。当初予算額 24 億 55 万 9,000 円に対し、年度途中において 34 億 8,852 万 6,000 円の追加補正を行い、最終予算額は 58 億 8,908 万 5,000 円となりました。決算においては、歳入 47 億 4,975 万 8,000 円に対し、歳出では 58 億 7,895 万 8,000 円の支出となり、歳入歳出差し引き 11 億 2,920 万円の不足額につきましては、翌年度の歳入を繰上充用し、決算したものであります。

次に、認定第 6 号平成 18 年度夕張市宅地造成事業会計歳入歳出決算の認定についてであります。当初予算額 3 億 36 万 4,000 円に対し、年度途中において 39 億 7,973 万 7,000 円の追加補正を行い、最終予算額は 42 億 8,010 万 1,000 円となりました。決算においては、歳入 42 億 7,939 万 6,000 円に対し、歳出では 42 億 7,939 万 6,000 円の支出となり、歳入歳出同額となったものであります。

なお、本会計は、平成 18 年度をもって廃止いたしました。

次に、認定第 7 号平成 18 年度夕張市観光事業会計歳入歳出決算の認定についてであります。当初予算額 100 億 368 万 1,000 円に対し、年度途中において 145 億 1,480 万 8,000 円の追加補正を行い、最終予算額は 245 億 1,848 万 9,000 円となりました。決算においては、歳入 244 億 3,780 万 3,000 円に対し、歳出では 244 億 3,780 万 3,000 円の支出となり、歳入歳出同額となったものであります。

なお、本会計は、平成 18 年度をもって廃止いたしました。

次に、認定第 8 号平成 18 年度夕張市住宅管理事業会計歳入歳出決算の認定についてであります。当初予算額 9 億 4,644 万 6,000 円に対し、年度途中に

において 9,129 万 9,000 円の追加補正を行い、最終予算額は 10 億 3,774 万 5,000 円となったものであります。決算においては、歳入 10 億 1,424 万 6,000 円に対し、歳出では 10 億 1,424 万 6,000 円の支出となり、歳入歳出同額となったものであります。

なお、本会計は、平成 18 年度をもって廃止いたしました。

次に、認定第 9 号平成 18 年度夕張市介護保険事業会計歳入歳出決算の認定についてであります。当初予算額 13 億 281 万 3,000 円に対し、年度途中において 5 億 4,910 万 6,000 円の追加補正を行い、最終予算額は 18 億 5,191 万 9,000 円となったものであります。決算においては、歳入 17 億 9,233 万 9,000 円に対し、歳出では 17 億 8,886 万円の支出となり、歳入歳出差し引き、347 万 9,000 円のうち、332 万円を翌年度繰越額とし、残額 15 万 9,000 円は介護給付費準備基金に積み立ていたしました。

以上、認定第 1 号ないし認定第 9 号について、その概要をご説明申し上げます。よろしくご審議の上、ご認定賜りますようお願い申し上げます。

●議長 加藤喜和君 藤原監査委員。

●監査委員 藤原 哲君（登壇） 平成 18 年度各会計の決算につきまして、先に行いました企業会計を除き審査を行いましたので、その結果についてご説明申し上げます。

平成 18 年度につきましては、不足が生じる特別会計へ一般会計から必要な繰出し等を行い、赤字の解消へ向け、取り組まれたところであります。

この結果、最終的に不足が生じた一般会計、国民健康保険事業会計、公共下水道事業会計については、いずれも翌年度歳入から繰上充用し、所要の措置が講じられております。

次に、審査手続きにつきましては、各会計決算書及び付属書類について、関係法令に準拠して作成されているか、また、これらの計数の正確性を検証するため関係諸帳簿との照合のほか、予算の執行状況等、通常実施すべき審査を行いました。その結果、各会計とも決算書及び付属書類は、適正に作成され

ているものと認めました。

その他、審査結果の詳細につきましては、決算審査報告書のとおりであります。

以上で説明を終わります。

●議長 加藤喜和君 これより質疑に入りますが、本 9 案件については、決算審査特別委員会を設置し、これに付託の上、慎重に審査することにいたしておりますので、この点お含みの上、質疑願います。

ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようでありますから、これをもって質疑を終わります。

お諮りいたします。

本 9 案件については、議長及び議員選出監査委員を除く議員全員をもって構成する決算審査特別委員会を設置し、これに付託の上、閉会中も継続して審査することにいたしたいと思います。

これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認めます。

したがって、そのように決定いたしました。

お諮りいたします。

ただいま設置されました、決算審査特別委員会の委員長及び副委員長を議長において、指名したいと思います。

これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認めます。

それでは、議長において指名いたします。

委員長には山本勝昭さん、副委員長には正木邦明さん。以上のとおりで、ご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認めます。

したがって、そのように選任されました。

●議長 加藤喜和君 日程第 4、意見書案第 1 号灯油等石油製品の価格を下げるための緊急対策を求める意見書を議題といたします。

本意見書案は、高間議員ほか 8 名全員の提案ですので、直ちに採決いたします。

本意見書案は、原案のとおり決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認めます。

したがって、本意見書案は、原案のとおり可決されました。

●議長 加藤喜和君 以上で、本日の日程はすべて終了いたしました。

本日の会議はこれをもって閉じます。

●事務局長 竹下明洋君 ご起立願います。

●議長 加藤喜和君 これをもって、第 7 回臨時夕張市議会を閉会いたします。

午前 10 時 50 分 閉会

地方自治法第 123 条第 2 項の規定により、ここに署名する。

夕張市議会 議 長 加 藤 喜 和

夕張市議会 議 員 高 間 澄 子

夕張市議会 議 員 伝 里 雅 之